

事業所名	かどるあっぷ
------	--------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の人数が多い日は支援室のスペースが狭く感じる時があるが、他の部屋を有効に活用している。 ・子どもが心地よく過ごせているように感じる。 ・個室やパーテーションを有効に使い、多動なご利用者や音の苦手なご利用者が落ち着くスペースを作る。 ・利用人数や活動内容によっては、狭く感じることもあるが、他の部屋を使い対応されていると思う。 ・活動内容によっては狭く感じる時もあるが、テーブルの配置場所を工夫するなどして活動できている。 ・支援室が狭いと感じたときは、静養室や相談室も使い、それぞれ担当職員が付き、支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もうひと部屋、個室があるといいと思った。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・手厚い支援ができている。 ・ご利用者の状態に応じて、個別の支援に力を入れている。また、医療的ケア児が多いため、看護職員を配置している。 ・ご利用者の様子や、マンツーマンでの支援が多い時は足りないと感じることがあるが、余裕のある時もあり日頃の職員間の協力もあり適切。 ・ご利用者1人に対して、担当職員1人等ご利用者の状態に応じて配置されている。 ・ほぼ適切であると思われるが、職員の休みや利用人数、様子によっては目の行き届かない時がある。 ・休み、研修等で職員が欠けると足りない時間帯があるが、職員同士が協力し合い対応できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ適切であると思われるが、職員の休みや利用人数、様子によっては目の行き届かない時がある。

環境・体制整備	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーで子どもがリラックスできる環境で過ごせている。 ・それぞれの特性に応じて配慮し、環境を工夫している。 ・生活動線を意識した配置をしている。スケジュール表や絵カードの掲示で視覚支援を行っている。 ・ホワイトボードで今日の活動と流れをお知らせし、タイムタイマーで始まりと終わりを伝えている。また、一人ひとりに合わせ絵カードも使用している、玄関前スロープ、段差のない室内、手すりの設置等バリアフリー化されている。 ・玄関前に雨よけ（カーポート）があるといい。 ・パーテーションや個室の利用等、個々のご利用者に合った環境整備をしている。 ・施設内は適切になされていると思う。玄関前の駐車場に屋根があるとバギーからの移乗がやり易いと思う。 ・明るく開放的な空間で分かりやすく環境が整っている。スロープや手すりがあり、段差もないので適切になされていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関前に雨よけ（カーポート）があるといい。 ・玄関前の駐車場に屋根があるとバギーからの移乗がやり易いと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数でゆったりと落ち着いて過ごせる部屋もある。 ・消毒、換気に努め、危険な個所には常に配慮し策を講じている。 ・毎月、安全点検を行っている。 ・ご利用者のその日の体調によるが、心地よく過ごせていると思う。 ・フローリングや床暖房もあり、子どもたちは横になったり、裸足で過ごせている。汚れてもサッとふけるので清潔である。 ・毎日掃除消毒を行い、危険なものが内容に気を付けている。今後はガラスや隅々もよく見るようにする。 ・毎日掃除、消毒等がきちんとされている。個別活動では各小部屋も使い落ち着いて過ごせるよう配慮されている。 ・広い訓練・活動室や、落ち着ける小部屋等、活動に合わせ使い分けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後はガラスや隅々もよく見るようにする。

業務改善	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる環境づくりをしている。 ・個々の活動に応じて、個室を使用し、必ず職員を配置している。 ・支援室以外に個室がある。 ・個別活動や落ち着きたい時などに、各小部屋が自由に使うことができるようになっている。 ・ご利用者が自分で落ち着くために過ごしたり、活動内容によって選んでいるが、人数によっては数名での使用となっている。 ・複数の個室あり。必要に応じて毎日利用。 ・毎日のミーティングを行っている。 	・音に敏感なご利用者に静かなスペースを提供するのが難しい。
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で振り返り、改善に向かうよう話し合いをしている。 ・打ち合わせ時に行なっている。 ・PDCAサイクルを繰り返し行い、支援の質や業務改善のために職員が参画していると思う。 ・毎日のミーティングを行っている。 ・毎回ではないが、広く職員が参画していると思う。 ・職員一人一人が自分の目標を設定し、意識して業務を行っている。半年に1度自分の目標にて対して振り返りも行っている。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、保護者アンケートを実施し保護者の意向等を把握して、業務改善につなげていると思います。 ・保護者の声に耳を傾けている。 ・職員間で共有し、業務改善につなげていけるように努めている。 ・とても参考になり、今後の支援につながる。 ・アンケート集計し、ホームページに公開しているので職員も把握できている。毎日の打合せで話し合い、業務改善につなげている。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等で意見を出し合える場がある。 ・管理者との面談で課題を示し、改善されているものがある。 ・毎日支援に入る前に打合せを行っている。 ・（放デイ）毎日のミーティングや、（組織全体）月1回の全体会議にて、意見等が出されて話し合われている。 ・打ち合わせや反省用紙提出等意見する機会がありますし、日頃の雑談でも意見できております。 	

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	9	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価は今のところ行っていないと思うが、常に業務改善を心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価は行われていない。必要なことではあると思う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に携わる職員は全員、年に一回は研修に参加して、スキルが上がると、支援の質の向上になると思う。 ・外部研修の参加に加え、内部研修を実施し、資質の向上に努めている。 ・研修担当職員が、全員外部研修に賛意化できるように計画を立ててくれている。他の職員は復命書によって、内容・成果などを報告している。内部研修も充実している。 ・外部内部とも行い、参加している。 ・外部での研修に積極的に参加し、その報告もされ共有されている。 ・外部研修や内部研修でも学ぶ機会があります。 ・内外の研修を周知、申込の取りまとめまで施設として行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に携わる職員は全員、年に一回は研修に参加して、スキルが上がると、支援の質の向上になると思う。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・HP上で公開。 ・今年度より支援プログラムをHPに掲載している。 ・ご利用者の発達段階や特性に合わせたプログラム、5領域との関連性を明確にしたものが作成され公表されている。 ・児発管が作成し、公表している。 ・ホームページにて公開されている。 ・担当者がプランを立てたうえで、ミーティング時に話し合い、意見を出し合い完成させている。 	

12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状態像を把握して行っている。 ・適宜意見交換しつつアセスメントを行っている。そのうえで計画を決定する際も一堂に会した場で決定している。 ・保護者との定期的な面談や必要に応じた相談などにより、保護者や本人のニーズを確認し、放課後等デイサービス計画を作成している。 ・毎日の打ち合わせ時に職員全員でアセスメントを行い、さらに保護者との面談、ご利用者の様子からニーズや課題を客観的に分析し、児発管が個別支援計画を作成している。 ・定期的にほぼ職員全員でのアセスメントを行い、担当職員がそれぞれのニーズや課題を分析し、計画が作成されている。 ・定期的にアセスメントを行い、保護者のご意見も伺いながら計画を作成している。 	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0 <ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った支援ができるよう、職員同士のコミュニケーションの活性化を図っている。 ・毎日の振り返り、意見交換を含めて共通理解を深めた上で、検討している。 ・保護者から聞きとったニーズと併せて、放課後等デイサービス計画案を提示し、職員間の共通理解と同時に職員の意見を聞くようにしている。 ・毎日のミーティングに責任者から説明していただき、検討し作成している。 ・児発管が作成した個別支援計画の内容を、打合せ時に職員全員にお知らせし、検討が行われている。 ・放デイ計画（案）ができた時点で、職員全体での検討が行われている。 ・ご利用者の成長に合わせて見直されており、打合せ等で職員に周知され共通理解のもとで、ご家族に意見を踏まえて検討されている。 	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス計画を意識し、支援に活かすように周知している。 ・実態把握しながら職員間で共有され、支援が行われていると思う。 ・職員全員が、毎日計画に沿った支援が行われたか、「○△／」でチェックしている。 ・一人ひとりの障がい特性に合った支援を行っている。 ・毎回利用時に記入されている「個別支援記録表」と一緒になっていて、いつでも確認できるようになっている。 	

適	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察や面接などのアセスメントを行っている。 ・保護者や相談員から頂いた情報と日々の支援などから状況を把握するように努めている。 ・フォーマルなアセスメント、インフォーマルなアセスメントの両者のメリットにより、子供の適応行動の状況の確認ができていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化したツールは用いていない。 ・標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントは行っていないが、インフォーマルなアセスメントを使用している。 ・標準化されたツールは使用していないが、保護者や相談員からの情報や日々の様子から、当施設独自のアセスメントツールを使用している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスガイドラインにそって、ご利用者に最適な支援を提供できるよう放課後等デイサービス計画を作成している。 ・障害特性等に応じた発達上のニーズに合わせ支援している。 ・子どもは家庭や地域社会における生活を通じて、様々な体験等を積み重ねながら育っていくことが重要である。そのため「本人支援」に加え「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」も合わせて行われることが基本で、個々のニーズに応じて設定されていると思います。 ・全項目、年代や発達段階に応じた細やかな支援内容が設定されている。 ・計画に、それぞれの子どもの支援に必要な項目が設定されている。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での意見交換を大事にし、活動プログラムを作成している。 ・担当者が立案しミーティングで確認している。 ・設定された活動内容は、他職員と話し合ったりチームで行っています。 ・各活動ごとに担当（リーダー）となる職員を決め、他職員が協力し行っている。 ・各活動ごとに担当者がいて、その人を中心に話し合い、アイディアを出し合っている。 	

切 な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動を行っている。 ・固定化しないように月ごとに立案している。また、ご利用者の状況に応じて柔軟に対応している。 ・毎月の活動内容を変え、固定化しないよう工夫している。 ・カレンダーに活動の予定を書き込み、様々な活動を行うことができるように工夫している。 ・毎月、活動内容や担当者を替え、いろいろな活動ができるように工夫されている。 ・固定化しないように新しい活動に取り組んだり、ご利用者のご様子にも合わせて工夫されています。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別と集団のバランスを個々に合わせて柔軟に対応できるように放課後等デイサービス計画を作成し、支援している。 ・子どもたちの成長と発達を促すために実施され、5領域を踏まえた計画を作成し、支援されていると思います。 ・一人ひとりに適した計画を作成し、それに基づきながら当日の状況を踏まえて支援を行っている。 ・ご利用者全員が参加できるよう配慮している。 ・一人ひとりの子どもの状況に合わせ、集団、個別の活動を組み込まれた計画が作成され、支援が行われている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で協力し合い、良い支援につながっている。 ・毎日の打ち合わせで、当日の役割の確認と前日の支援の振り返りを行い、職員全員が共有できるようにしている。 ・毎日のミーティングで役割分担について確認しその日の支援がスムーズに行われている。 ・打合せでは、支援内容や役割分担について確認し連携して行っている。 ・毎日打合せの時間が決まっているので良い打合せができている。 ・毎日、支援開始前に行われている。 	

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日振り返りを行っている。 ・特変があった場合は、話し合いを持つが、翌日に振り返りを行うことで、情報の共有ができています。 ・支援終了後には、時間が取れないため、翌日の打ち合わせの時に支援の振り返りが行われ、気づいた点等が共有されている。 ・終了後は、職員の勤務時間がそれぞれ違うので、打合せができないため、振り返りも翌日の支援開始前に行っている。 ・その日ではないが、反省用紙を提出しまとめた意見を回覧したり、次の日の打ち合わせで振り返ったり、気が付いたことを話し合い共有できている。 ・支援終了時には職員がそろわないため、翌日にミーティング時に振り返りを行っている。 	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援経過表、連絡ノートなどわかりやすい記録に努め、それをもとに振り返りを行っている。 ・その日のご利用者の様子や特記事項を記録し支援の検証や改善につなげている。 ・正しく記録している。 ・日々の支援で気づいたときに記録できるようになっている。 ・毎日支援経過の記録を行い、支援の検証・改善につなげている。 	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保護者と面談を行っている。 ・半年に1度のモニタリングを実施し、放課後等デイサービス計画の見直しを行っている。 ・半年に1度のモニタリングを行い、計画に反映されている。 ・定期的に行い職員全員で確認し合っている。 ・定期的なモニタリングを行い、必要なことや新しく加わったことなどを取り入れています。 	

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・基本活動を意識し、支援を展開できるよう努めている。 ・様々な経験により、興味関心が持て、子ども同士の関わりの中で子どもが主体性を発揮しながら参加できるよう支援していると思います。 ・子どもと同じ目線で一緒に遊ぶことから様々な動作・発見・挑戦・失敗・体験を心から楽しむことができると思うので遊びの中で、4つの基本活動を組み合わせ、支援している。 ・それぞれのご利用者の障がいの特性や状態等により、活動を複数組み合わせ、支援が行われている。 	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カード等を用いて毎日の活動を自己選択するよう促している。 ・自己選択できる機会と同時に、意思表出手段にも配慮し、自己決定の機会を育めるよう支援している。 ・言葉や絵カード、ジェスチャーなどで行っている。 ・個別の予定表、タイマーなど。 ・個人差や発達過程に合った自己選択ができる支援の工夫がされていると思う。 ・肯定的な言葉かけを行い、考える力・自己決定する力を育てるようにしている。また、絵カードを使い自己決定できるようにしているご利用者もいる。 ・子どもたちの意見を聞きながら、絵カードや写真等で自分で選択できるように工夫したり、ご利用者の声や気持ちを大事に支援が行われていると思います。 	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者、児童発達支援管理責任者が参画している。 ・子どもの状況を理解している児発管が参画している。（会議前には、他職員から情報の聴き取りも行っている。） ・児童発達支援管理責任者が出席し、翌日のミーティングで報告している。 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・1～2か月に1回、精神科医より助言いただいている。 ・管理者が窓口となり、他機関と連携し支援を行う体制を整えている。 ・日頃から地域全体の子育て支援を活性化するためのネットワークが構築されていると思います。 ・支援体制が整っていると思う。 ・いつでも連絡をとれるようにしている。 ・主治医からの指示書に沿って看護師がケアを行っている。 	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時の申し送りの場面やケース会議等のへの参画などを通し積極的な情報共有に努めている。 ・電話、おたより、マチコミ等で情報共有・連絡調整している。 ・必要に応じて情報共有していると思う。 ・手紙や電話、場合によっては学校等へ出向いて直接お会いして話をしています。迎えの際にも連絡を取り合っています。 ・適切に行っている。 ・お迎えの時に学校での様子を伺い、支援に役立てている。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向があった場合や必要性を感じた場合には、積極的に行う。 ・現在通われている園等から就学前の様子を伺ったり、学校とは情報共有や相互理解に努めています。 ・直接または相談支援専門員の方を通して、情報共有と相互理解に努めている。 ・必要に応じて提供していると思う。 ・担当相談員を通して情報共有を行っている。 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・意向があれば積極的に行っていく用意はある。 ・直接または相談支援専門員の方を通して、情報を提供している。 ・関係者会議等で情報を共有し、ご利用者本人の状況をお伝えしています。 ・担当相談員を通して情報提供される事が多いが、直接情報を求められ提供する場合もある。 ・必要に応じて情報共有していると思う。 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会に参加している。 ・助言や研修の機会は活用するように努めている。 ・児童発達支援センター主催の研修会等に参加し、必要に応じ質問し指導を受けている。 ・支援センターの案内で研修に参加している。1～2か月ごとにスーパーバイザー（協力医療機関の医師）より助言いただいている。 ・スーパーバイザーの助言は、対応が難しい子どもや家庭をはじめ個別ケースへの支援を含め支援の質の向上につながっている。児童部会主催の研修にも参加している。 ・研修を受ける機会があるので、できるだけ参加している。 	

32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	4	<ul style="list-style-type: none"> ・公園で地域の子どもたちと接することはある。ご利用者によっては他の子ども達が遊ぶ様子を見て楽しんでいる。 ・地域の公園にでかける機会を設定し、交流できるように心がけている。 ・散歩、公園、お出かけなどで（活動とまではいかないが）あいさつをしたり、遊具を一緒に使わせてもらうなど交わる機会は多かった。 ・公園で地域の他の子どもと接している。 ・交流はしていないが、散歩時に公園で近隣の児童と一緒に遊ぶ機会はある。 ・散歩や公園での活動の際、地元の中学生在が挨拶をしてくれるなど地域に認められた事業所であると感じる。 	・コロナ等で交流の機会が減ったのが現実である。交流を持つことでお互いに得られることもあるので、公園で出逢うのも大事であると思う。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者が参加し、報告書を回覧している。 ・必ず参加し、会議の内容を報告書で共有している。 ・児童部会に参加している。 ・児発管が参加している。 ・助言や研修の機会は活用するように努めている。 ・各部会へ参加している。 	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者を送った時、様子をお伝えしご家族とコミュニケーションを図っている。 ・送りの時に様子を話したり、お家での様子をうかがってくる。連絡帳でも毎回の様子を伝えている。 ・連絡ノートでお伝えしたり、必要があれば直接お伝え（送り）している。保護者からもお知らせ頂いて共通理解を持てている。 	・ご自宅への送りが始まり、保護者の方と直接顔を合わせる機会が減ったが、その分連絡ノートでのやりとりを密に行えるように心がけている。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの悩みごとや困りごとといった相談には、助言や提案を行っている。また、地域の研修の案内の情報提供は行っている。 ・保護者が子育てに関する知識やスキルを習得し、子どもの発達や問題行動に対応するために研修等のご案内を行っています。 ・ご家族が参加できる研修がある時は、情報提供を行っている。 ・毎月のおたよりでお知らせしている。 ・研修会などの案内をホームページや毎月のおたより、チラシ等の配布で情報提供を行っている。 	

	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約時や変更時に、口頭で説明している。 ・ 契約時にお伝えをして、内容が変更になった時にはその都度改訂した内容をお伝えしています。 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者面談で意向を確認している。 ・ 送迎時にお話をする機会があるのでその都度確認するようにしている。 ・ 面談で意向を確認して、一人ひとりの子どもの利益を考え、作成されていると思います。 ・ 4つの基本活動を全て含めた総合支援をもとに作成され、ご利用者や保護者のお気持ちを確認する機会を設けている。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援の内容を理解しやすいように説明している。 ・ 計画の内容を丁寧に説明し、同意を得ている。 ・ 計画作成後、説明を行いサインを頂いている。 ・ 計画の更新時には必ず保護者のかたに説明し、同意をいただき、サインしてもらっている。 ・ 送りやお迎えの際に、保護者の方にご利用者の成長に合わせて見直された点や、5領域を踏まえた計画の説明をし同意を得ている。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡ノートや面談等で、保護者の悩みごとや困りごとを受け止め助言するなど、保護者支援に努めている。 ・ どんなことにも耳を傾け、自分ではわからないことは他職員に伝え、保護者の方への丁寧な対応を心掛けている。 ・ 送りやお迎えの時等、日頃のコミュニケーションを大切に対応し、連絡ノートでの相談や必要があれば面談を設けています。 ・ 送迎時に保護者の方との会話を大事にしている。 ・ 話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員は家族が相談しやすいような関係性や雰囲気を作っていくことが必要。

保護者への説明等	40	<p>父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。</p>	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会で保護者同士で交流する機会がある。 ・保護者を招いて茶話会を実施。 ・茶話会の開催により、保護者同士の交流が図られていた。 ・職員も茶話会に参加し、お話する機会があり色々な話を聞いた。 ・茶話会を設け参加者を募っておりますが、お仕事等の都合もあり数名の保護者の会となっています。しかし、職員も途中で参加し親睦を深めています。 ・手をつなぐ育成会の支援、茶話会の開催を行い、保護者同士で交流する機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会を開催し、保護者同士が交流する機会を設定するが、参加者が少ない。
	41	<p>こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。</p>	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情に対して、職員間で把握し対策を考えている。 ・マニュアルをもとに対応できるように内部研修を実施している。職員に報告・連絡・相談を徹底し、大事に至る前に迅速に対応するように努めている。 ・苦情受付箱を設置し、適切に対応していると思う。 ・苦情があった場合、迅速かつ適切に対応するよう努めている。職員間で共有し、再発防止に役立っている。 ・苦情受付の職員と苦情解決の職員が迅速かつ適切に対応している。 ・直接お聞きしたときはもちろんであるが、何事も些細なことでも上司に報告相談して速やかに対応している。 	
	42	<p>定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。</p>	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に十分に配慮しながら、HPやインスタ等で活動の様子を紹介している。 ・お便りやホームページやマチコミメールで情報発信が行われている。 ・その日の活動内容を連絡ノートでお知らせしたり、おたよりや（写真）HPやSNS等でも閲覧可能である。 ・HP、インスタ、マチコミ、毎月のおたよりで情報を発信している。 	
	43	<p>個人情報の取扱いに十分留意しているか。</p>	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の記載がある書類は鍵付きの重要書類の棚に保管されている。 ・個人情報の取扱いに十分注意している。 ・個人名のあるものはシュレッダーにかけている。 ・個人情報に関しては細心の注意を意識している。文章の他、職場外でもプライバシーを常に気にしている。 	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションツール活用など、個々の特性に応じて配慮するように努めている。 ・ご利用者はもちろん保護者の方とは、いつでも話しかけていただけるような雰囲気（接し方）で関わるようにしています。 ・個々に合ったコミュニケーション手段を使い、情報伝達を行っている。 ・障がいの特性に応じて、配慮されていると思う。 ・絵カード、写真カード、スケジュール表などご利用者の特性に合わせ様々な工夫をしている。 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師やボランティアの方に来ていただき、活動を行っている。 ・外部講師、ボランティアの方々と図っている。 ・町内会に所属し、総会に参加している。地域の行事等にお誘いいただいている。 ・コロナも影響があったが、ボランティアの方や様々な発表や催しで来所して頂くことがあります。 ・外部講師や地域の方をお招きして、活動をしていただいている。（長期休み） ・外部講師、ボランティア。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた事業運営を目指しているが、コロナ禍が始まってからは、行事をする機会がなくなった。今後は、地域交流を図れるように検討していきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職場研修があり、マニュアルが配布され、周知に努めている。保護者の方へも契約時等で説明している。 ・職場研修や訓練を定期的に行っている。 ・各マニュアルが策定されていて、職員に内部研修として行い周知されている。保護者には契約時に知らせている。 ・内部研修、内部訓練を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は行っている。保護者へのマニュアルの周知が十分でないと感じる。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPに基づいた訓練を実施し、緊急事態における事業継続に備えている。 ・BCPを作成し、シミュレーションを行ったり、研修や訓練をしている。 ・職員研修や訓練を定期的に行っている。 	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・初回のアセスメント時に確認している。 ・必要な時には、口頭や文章等で確認しながら職員間での共通理解に努めている。 ・アセスメントシートでの確認と、毎日の職員間の打合せでのご利用者の状況連絡によって確認している。 ・保護者、学校からしっかり連絡をとり確認している。 ・ご利用者の面談時に確認されている。 	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	3	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの情報は把握しているが、医師の指示書が必要なご利用者は現状ではない。 ・おやつの時に気を付け、おやつを選んでいる。 ・医師の指示がある場合は、保護者の方と連絡を密にとりながら対応している。 ・医師の指示書はないが、保護者の方と連絡を密にとりながら対応している。 ・医師から指示書をいただいていないご利用者も保護者の方から詳しく状況をお伝えしていただき、アセスメントシートに記載している。緊張感をもって対応している。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成し、それにそって研修や訓練を行っている。 ・毎月安全点検を行っている（月初め）。 ・安全確保に係る取組等を確実にこなうために、日頃から周知し、研修や訓練などを行っています。安全点検は毎月あります。 	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成し、保護者に周知をはかった。 ・取組内容をホームページに載せている。 ・HPでも公開するなど、保護者へ周知されています。 ・緊急時にマチコミで保護者に知らせている。 	

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書を作成し、振り返りに努めている。 ・些細なことでも報告やヒヤリハットを提出し、全員で検討し事故防止につなげていけるよう心掛けています。 ・報告書を回覧し、話し合い、未然に防げるよう対策している。 ・積極的に提出し、共有している。再発防止に向けカンファレンスを行い、施設長へ提出、回覧している。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部内部研修を受講。 ・虐待防止の内部研修を行い、虐待防止のポスターを施設内に掲示している。 ・毎年「虐待・拘束」の内部研修が行われている。外部研修にも必ず毎年交替で参加している。 ・内部・外部の研修や資料も参考に適切な対応を心掛けています。 	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、やむをえず身体拘束を行う対象者はいないが、放課後等デイサービス計画に記載し、保護者の同意を得ることになっている。 ・承諾書をいただき了解を得ています。 ・保護者に説明後、サインをいただいた計画を確認している。 ・必要と考えられるご利用者には、保護者に承諾を得ている。 ・やむを得ず身体拘束が必要となった場合、保護者に承諾を得て、個別支援計画に記載し、実施記録も記入されている。必要がなくなるとすぐに解除されている。 	

【自由記載】

・ご利用者1人1人が抱えている困り感の原因を知り、ニーズに合った支援目標になるように考えていきたい。
 ・看護師が配置されていることで、保護者が安心して預けられている。また、職員のチームワークが、ご利用者の心の安定につながっていると思う。これからも、選ばれる事業所であるように職員1人1人のスキルの向上をめざしたい。
 ・5領域、4つの基本活動を意識しながら、ご利用者と同じ目線で一緒に楽しみ、成長を感じていきたいと思います。
 ・ご利用者が不安にならないように、どんな時も笑顔で心に余裕をもって支援をしていきたいと思います。
 ・医療的ケアを必要とする子どもが年々増えている。受入してあげたいが（断らず）、ベッド等の関係で厳しいので、日中一時の医ケアご利用者と放課後等デイサービスの医ケア児のスペース、部屋があるとよいと思った。
 ・先日の虐待の内部研修での事案では、白岩の里での夜勤、宿直のほぼマニュアル化された黒歴史を思い出し、今では考えられないことをやっていたのだなぁと自分自身が深く考える機会となりました。強度行動障害という言葉すら現場になかったあの時代は仕方がなかったんだと、何度も自問自答しながら考え、あの事案では指導員を擁護するつもりもありませんが、お2人ともある意味被害者だと思いました。あれから37年、福祉の社会も変貌を遂げました。ご利用者にはより良い社会を、そしてより添う私たち現場の職員にもより良い職場でありますようにと希望いたします。